

# くすりのしおり

内服剤

2015年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

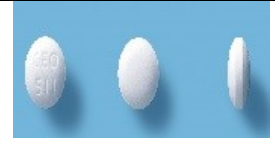
## 商品名：メインベース錠 50 小児用

主成分：クラリスロマイシン (Clarithromycin)

剤形：白色の錠剤、直径 6.1mm、厚さ約 3.3mm

シート記載：（表）メインベース錠 50 小児用、小児用、50mg、CE0511

（裏）MINEBASE・50、メインベース錠 50 小児用、50mg、日局クラリスロマイシン錠



## この薬の作用と効果について

細菌の蛋白合成を阻害することにより細菌の増殖を抑えるマクロライド系抗生物質です。

通常、呼吸器領域、耳鼻咽喉科領域、皮膚科領域などの感染症や後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症の治療に用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能障害、腎機能障害、心疾患がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は<<< :医療担当者記入>>
- ・一般感染症：通常、小児は1日体重1kgあたり主成分として10～15mg（力価）を2～3回に分けて服用しますが、レジオネラ肺炎に対しては、1日体重1kgあたり15mg（力価）を2～3回に分けての服用となります。1日最高服用量は400mgまでとされています。  
後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症：通常、小児は1日体重1kgあたり主成分として15mg（力価）を2回に分けて服用します。  
本剤は1錠中に主成分として50mg（力価）を含有します。いずれも治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は飲み忘れた分は飲まずに、次に飲む時間に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、腹痛、下痢、発疹、吐き気、嘔吐、味覚異常、幻覚、失見当識（場所、時間、名前などが判らない）、意識障害、せん妄、躁病（上機嫌、興奮しやすい、活動的になる）、振戦（手足の震え）、しびれ、耳鳴、聴力低下、嗅覚異常、口腔内びらん、歯牙変色、筋肉痛、カンジダ症（外性器などに発疹ができたかゆい、口内炎、飲み込んだり食べたりしにくくなる）、動悸、低血糖などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、顔面などの浮腫、蕁麻疹 [ショック、アナフィラキシー]
- ・動悸、胸部不快感、胸痛 [QT延長、心室頻拍、心室細動]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全]
- ・全身倦怠感、頭痛、鼻血・歯ぐきの出血 [血小板減少、汎血球減少、溶血性貧血、白血球減少、無顆粒球症]
- ・高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、眼の充血 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。